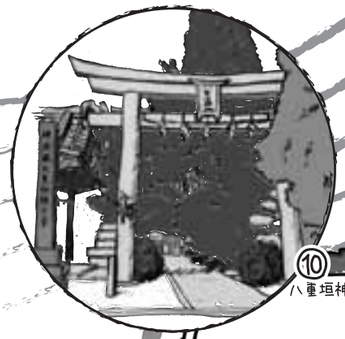
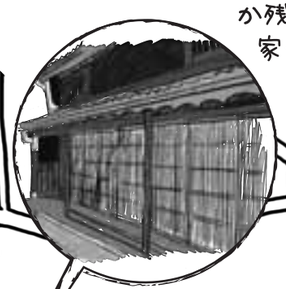
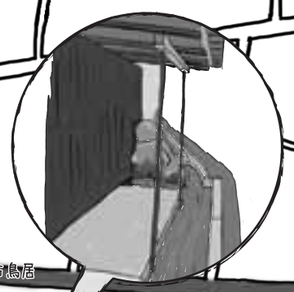
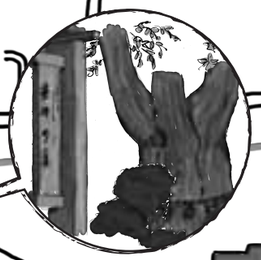
垂井宿 地名の語源となった水脈と中山道をめぐる

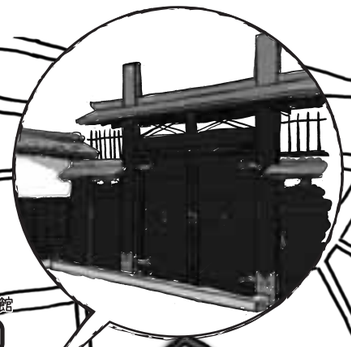
垂井は扁状地で、まちのあちらこちらに伏流水が湧き出ています。また、地面を掘って水脈を集める“マンボ”と呼ばれる用水も幾つか残っており、今も生活用水として利用されているところがあります。垂井の語源となった水の物語をめぐるとともに、古い商家や旅籠の建物が残る中山道垂井宿をまわります。（距離：約3.1km）

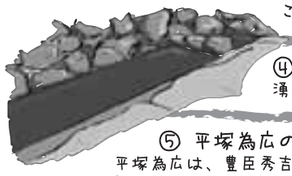


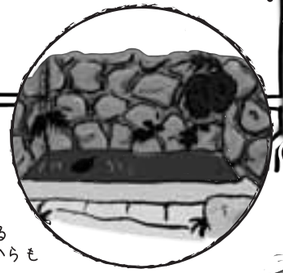


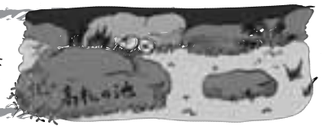












トイレ
レンタサイクル

相川
前川
西の見附 ⑪
八重垣神社 ⑩
本龍寺 ⑫
長浜屋 ⑭
旅館亀屋 ⑬
南宮大社の石鳥居 ⑮
西清水 ⑨
高札用心池 ⑧
夢の家
地域の人たちの憩いの場になっています。コーヒー1杯100円で地元の方の温かいサービスに触れることができます。街道歩きのご休憩にどうぞ。
おもてなし処 たるい庵
亀丸屋 ⑯
福祉会館
大垣共立銀行
細井家の門 ⑰
紙屋塚 ⑱
東保育園
垂井公民館・商工会館
永法寺
裏清水 ⑦
玉泉寺
垂井の泉 ⑥
垂井町役場
恵精寺
中央公民館
古清水 ④
平塚為広の碑 ⑤
垂井城跡
金蓮寺 ③
マンボ ②
スタート
ゴール
観光案内所 ①
JR垂井駅

① 垂井町観光案内所

JR垂井駅北口にある観光案内所でまちの様々な情報を手に入れることができます。有料でレンタサイクルの貸し出しもしています。 平日 10:00～14:00　土日祝 9:00～15:00　月曜休館

② マンボ

垂井は扁状地のため水が不足しており、昔の人は地下に穴を掘り、水脈を集めて農業用水や生活用水にしていました。その用水を“マンボ”と言います。現在、使われているマンボは個人宅になりますので、見学は街角案内の方とご一緒にお願いします。

③ 金蓮寺

もとは天台宗であった寺を、遊行上人が当地へ巡教の折、時宗に改めました。芸人や職人に信仰され、江戸時代の「南総里見八犬伝」にも登場します。室町幕府に反逆を企てた足利春王丸、安王丸がここで斬首され、埋葬されたという悲しい物語でも知られています。

④ 古清水

湧水を地域の人たちが生活用水として大切に使っています。

⑤ 平塚為広の碑

平塚為広は、豊臣秀吉に仕え、一万二千石の垂井領主となります。関ヶ原の合戦では、病気の大谷吉継にかわり大谷隊を指揮しますが討ち死にし、敗軍の中で大谷吉継に辞世の句を残します。
「名の為に　捨つる命はおしからじ　ついにとまらぬ　浮世と思えば」

⑥ 垂井の泉

岐阜県の名水50選に選ばれた由緒ある泉です。泉のほとりには幹周り８メートルの大ケヤキが見ものです。湧き出る泉は古くから和歌に詠まれ、「垂井」という地名はここから生まれたと言われています。

⑦ 裏清水

東海地方で名だたる茶会が開かれるとき、この水がよく利用されるそうです。味は郡上の名水、宗祇水によく似ていると言われます。

⑧ 高札用心池

かつて、本龍寺の前に高札場がありましたが、大火の際には大切な高札をいち早くこの池につけて火災から守ったそうです。

⑨ 西清水

昔は洗い場として使われていた西清水

⑩ 八重垣神社

垂井の氏神様で毎年5月2日～4日に開催される例祭「垂井曳■祭り」で知られます。曳山の上で演じる子供歌舞伎が見ものので、祭礼には京都の八坂神社からも宮司が参られます。

⑪ 西の見附

安藤広重の垂井宿の版画は、ここから西方を見た景色が描かれています。

⑫ 本龍寺・時雨庵

松尾芭蕉は、奥の細道の旅の２年後の元禄４年10月に、本龍寺で冬籠りをしました。現在は公開されていませんが、江戸末期に芭蕉を記念して立てた「時雨窠」があります。また、山門は脇本陣から移築したものです。

⑬ 旅館亀屋（小林家）

文化末年（1917年）に立てられた油屋卯吉の商家で当時は多くの人を雇い油商売を営んでいました。明治以降は小林家が改造して亀屋という旅館になりましたが、土蔵造りに格子、軒下のぬれムシロをかける釘などが宿場時代の代表的な商家の面影を残しています。

⑭ 長浜屋

約200年前に立てられた旅館で、庶民が泊まった旅籠の風情を味わうことができます。今は宿場のお休み処になっています。

⑮ 南宮大社の石鳥居

美濃一の宮、南宮大社の参道に立つ巨大な石の鳥居です。

⑯ 亀丸屋

200年ほど続いている旅館で、今も旅館として営業しています。亀の鬼瓦が目印になっています。

⑰ 細井家の門

かつては造り酒屋であった細井家には約100年前に立てられた立派な門が残っています。

⑱ 紙屋塚

美濃国府に近い垂井では、官設抄紙場といわれる紙屋がありました。美濃紙の発祥の地と言われています。

企画　垂井町にぎわい推進協議会
制作　中山道ぎふ17宿歩き旅事務局
（日本イベント企画株式会社）

岐阜がつながる 中山道ぎふ17宿 歩き旅